

「Thanks Buddy ! 宣言 人と動物が共生する社会の実現」

公益社団法人日本獣医師会は、人・動物・環境の健全な調和を基盤とするワンヘルスの理念のもと、人と伴侶動物が互いに支え合い、その関係性が社会全体の健やかさと豊かさを育てていく未来の実現を目指す。

伴侶動物は、私たちの暮らしに喜びや安らぎをもたらす存在であると同時に、心身の健康を支え、子どもたちの情操を育み、高齢者の生きがいや役割意識を生み出し、地域に新たなつながりや社会参加の機会をもたらしてきた。

人と動物が共に生きることは、日常の中に自然なリズムと支え合いを生み、暮らしの質や社会の豊かさを高める力となっている。

一方で、人と動物が共に生きる社会には、感染症への備え、適切な飼養管理、動物福祉の確保、環境への配慮など、科学的知見と社会的合意に基づき、継続して向き合うべき課題が存在する。

これらの課題に正面から向き合い、安心と信頼に支えられた共生のかたちを社会に根づかせていくことは、人と動物のみならず、地域や社会全体の持続可能性を高めることにつながる。

人と動物の関係は、単なる「愛情」や「個人の選択」にとどまるものではない。それは、人の生き方や地域のあり方、そして社会の未来を形づくる重要な要素である。

この社会的価値と責任の双方を正しく理解し、人と動物が共に生きることの意義を、科学に裏打ちされた言葉として社会と共有していくことこそが、ワンヘルスの理念を現実の社会へとつなぐ確かな礎となる。

我々は、志を同じくする関係団体・関係機関と連携しながら、
① 科学的根拠に基づく獣医療の発展と動物福祉の向上を図り、
② 人と動物が共に健康で幸福に暮らせる社会環境の整備に取り組み、
③ 教育、地域づくり、社会啓発を通じて、動物がもつ社会的価値をさらに高めていく。

人と動物が共に生きることは、個々の暮らしを豊かにするだけでなく、社会のレジリエンスを高め、未来への希望を育む力となる。

公益社団法人日本獣医師会は、人と動物が調和のもとで共生する社会の実現に向け、国民と共に歩み続けることを、ここに宣言する。



事 務 連 絡
令和 8 年 3 月 30 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
専務理事 伏見 啓二

Thanks Buddy Project に係る協力依頼について

平素より本会の事業運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本会におきましては、「Thanks Buddy Project」の開始に伴い、人と動物が共生する社会の実現に向けた取組を推進しております。

つきましては、下記の事項につき、貴会におかれましてもご理解の上、会員動物病院等への周知及びご協力の取りまとめにつき、ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

1 賛同動物病院の募集について（別添 1）

本会では、動物との共生の価値を社会に発信するパートナーとして、賛同動物病院の募集を行っております。なお、賛同動物病院は二次元コードより登録が可能であり、順次公式ホームページに掲載いたします。<https://tinyurl.com/4fnnkmsj>



2 世界獣医師会大会プログラムへの参加について（別添 2）

世界獣医師会大会において、本プロジェクトに関連するプログラムを実施いたします。会員への周知及び参加の呼びかけにご協力をお願いいたします。

3 ベストバディアワードへの投稿について（別添 3）

2 のプログラムにおいて「ベストバディアワード」を実施しております。つきましては、院内掲示及び投稿の呼びかけにつき、ご協力をお願いいたします。

本件のお問合せ先

公益社団法人 日本獣医師会

事業担当：中村、猪俣

TEL:03-3475-1601

E-mail: nakamura@nichiju.or.jp



犬の飼育頭数が 半減する。これは、 未来の社会課題です。

とある研究者によると、
2040年に国内の犬の飼育頭数は
半減すること。

それは、

孤独をやわらげてきた存在が

減ること。

子どもたちが命と向き合う機会が

減ること。

高齢者の外出や会話のきっかけが

減ること。

伴侶動物が減る未来は、

社会がちよつと冷たくなる

未来かもしれません。

Thanks Buddy Project ㊦

人も動物も温かく幸せに生きられる、

ワンヘルスな社会を育む

パートナーを募集しています。



Thanks Buddy!

Thanks Buddy Project は、
様々な企業・団体と連携し、
人と動物の共生の価値を
発信する活動をしています。

